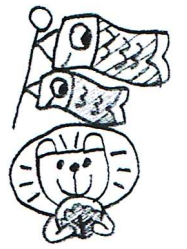


# ゆり組だより 5月号



平成30年 5月18日 ことり保育園 担当:盛川



晴れ渡る空と青葉にすがすがしさを感じる時期になりました。  
年長児としての自覚が少しずつ芽生え、日々の活動を頑張る姿が見られるようになってきました。

4月後半から鼓笛の練習が始まりました。  
担当するパートを一人ひとり発表すると、同じ楽器の子に「〇〇ちゃん、一緒だね」と声を掛けたり、「△△くんは小太鼓か...頑張ってるね!」と話をして、それぞれが自分のことだけでなく友だちを意識して過ごしていることがわかり、嬉しかったです。また、パート毎の練習では、小童れの楽器に角触れ、扱い方や約束事を覚えたり、「ただ音を出す」だけの練習からメロディやリズムを「演奏」出来るようになることが楽しいようです。「明日もやりたい」と友だちや保育者と話しており、任されたパートに精一杯取り組んでいると感じます。

さて、先日「親に感謝する日」の製作を行いました。  
「このフォトフレームは、ご飯を作ってもらったり、遊んでもらったりといつもいろいろなことをしてくれるおうちの人にありがとうの気持ちを込めて渡すんだよ」という話をしたところ、「とっても大事だね」、「きれいに作ろう」ということが聞かれました。ある程度作り進めたとき、次はどのように作るのか分からず手が止まってしまった子がいました。「ゆり組さんだから自分で聞きに来られるかな」と様子を見守っていると、近くにいた友だちが自分の作品を使って「こうやってやるんだよ」と実際に行なって教えてくれました。いつもは「やってあげる」でしたが、手本を見せて教える姿に関心するとともに、思いやりの心が育っているように感じました。

そして、出来上がると「ココが上手に出来たよ」、「喜んでくれるかな」と話し、笑顔を見せていました。

これからも友だちとの関わりを大切に、活動に取り組めるよう働き掛けをしていきたいです。

